

にぎわいの創出と 良好な環境が 両立するまち

半田赤レンガ建物は、半田運河と南吉のふるさと岩滑をつなぐ中間拠点として、また知多半島観光のランドマークとして市民の皆様や観光客にとって魅力ある施設とするべく7月18日のオープンを目指して整備を進めます。半田赤レンガ建物、ミツカンミュージアム「MIIM」のオープンにあわせ、蔵のまちエリアから半田赤レンガ建物をつなぐ回遊ルートの整備を実施し、市内の回遊性向上を図ります。アイプラザ半田を「観光情報発信拠点」と位置づけ、NPO法人半田市観光協会を指定管理者とし、観光情報の発信や観光客へのサービス向上に努めます。

企業立地については、国内最大級の本質バイオマス発電所の誘致、ボーイング777

Xの新工場及び自動車部品の生産拠点工場の建設が発表されるなど、本市への大型投資が続き、雇用及び税収の大幅な増が期待されます。人口減少に歯止めをかけ都市間競争に勝ち抜くためにも、企業誘致は重要であり、新たな工業団地の建設に向けて取組を進めます。

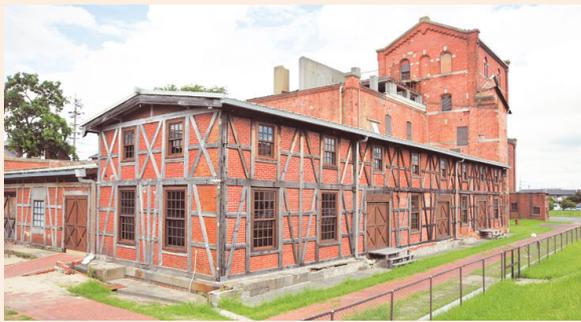
水道事業については、料金収入が減少しているなか、業務の効率化を図り、一層の安定経営に努めるとともに、施設整備では、水道管の耐震化や防災拠点施設への応急給水栓の設置拡大など、地震対策事業を引き続き推進します。また、維持管理費等のコスト縮減に向け、自然流下による配水区域拡大のため、砂谷第3高架型配水池の建設を進めます。



観光拠点施設として ● 半田赤レンガ建物 管理運営事業

予算額 6,007万6千円

民間事業者のノウハウを活用した指定管理者制度による管理運営を行い、建物の歴史的価値や魅力を市内外に発信します。



半田の魅力を全国に発信!! ● 観光振興事業

予算額 4,352万2千円 補正 2,866万9千円
新年度 1,485万3千円

平成27年度にオープンする「赤レンガ建物」「ミツカンミュージアム」「半六庭園」などとともに、本市の観光の柱である『山車』『蔵』『南吉』『赤レンガ』や食など半田の魅力を効果的に情報発信することで、一層の誘客促進を図ります。

点在する観光スポットをつなぐために ● 回遊ルート整備事業

予算額 1,062万2千円

観光客が、市内に点在する観光スポットを迷わずに回遊していただけるよう、観光スポットを結ぶ動線の路面にラインを施工します。

【その他、主な事業】

事業名	内容	予算額
企業立地・創業支援事業	市内に20年以上立地し、工場、研究所の新増設を行う補助対象分野に該当する企業に、土地を除く固定資産取得費用の10%を県と合わせて補助しません。	3億5,570万9千円
プレミアム付商品券発行事業	半田商工会議所が実施するプレミアム付商品券発行事業に対して補助を行い、地域における消費喚起を図ります。	補正 8,998万6千円
中心市街地活性化推進事業	中心市街地の空き店舗の場所や人の流れの状況を踏まえて、中心市街地の店舗利活用の施策を検討します。	補正 500万円
ごみ焼却処理施設補修事業	各種設備機器類の整備・補修を行い、知多半島広域環境組合による新施設が稼働する平成34年4月まで延命化を図ります。	1億4,900万円
畜産環境対策推進事業	緊急の課題の臭気対策について、畜産農家に対し消臭資材の補助などを実施します。	補正 550万円